



連合駿台会報

No.304 平成24年7月15日発行
 編集・発行 連合駿台会
 広報委員長 齋藤柳光
 〒101-0052 千代田区神田小川町三三二
 明治大学「紫紺館」内
 電話 (〇三三) 三二九六一四七四七
 FAX (〇三三) 三二九六一四七四八
 印刷 有限会社 美創

第五十八回連合駿台会総会を開催

第五十八回連合駿台会の通常総会が、平成二十四年五月十八日(金) 十八時より、明治大学「紫紺館」三階会議室で開催されました。

まず山口政廣会長が開会を宣言し、規約の第五章・第十三条に従い、会長が議長となり、坏昭二専務理事の議事進行により、議案の審議が進行されました。議事録署名人名には、佐藤健副会長、小柴和弘常任理事が選任されました。

○第一号議案

平成二十三年事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表・財産目録の報告、ならびに監事による監査報告承認の件

▽平成二十三年度の事業報告(①例会・総会、②理事会、③組織・会員増強委員会、④正・副会長会、第三回連合駿台会オープンゴルフコンペ、⑤会報発行、⑥会員状況)につ

いて、坏専務理事から報告があった。会員数については、期末の人数が期首の人数を上回る(実質的会員数増)になったのは、当会発足以来初のことであるとの補足説明もあった。

▽平成二十三年度の収支計算書・正味財産増減計算書・年度末貸借対照表・財産目録について、大山卓良財務委員長から以下の報告・説明があった。

・収支計算書の「収入の部」に関しては、当期収入予算額1700万円に対し、決算額1731万1713円で対予算比一〇一・八%となった。「支出の部」では、総務費が予算額420万円に対し決算額458万1244円(対予算比一〇九・一%)。事業費では、各委員会運営費が予算額2175万円に対し決算額2266万2523円(対予算比一〇四・二%)、その他の事業費(慶弔費)が予算額20万円に対し決算額10万2千円(対予算比五一・〇%)だった。事業費のトータルでは、予算額219

5万円に対し決算額2276万4523円(対予算比一〇二・六%)となった。また予備費50万円は支出がなかったため、当期支出合計は、予算額2665万円に対し決算額2734万5767円で、対予算比は一〇二・六%だった。したがって、当期収支差額は予算額マイナス965万円に対し決算額マイナス1003万4054円(対予算比一〇四・〇%)。当期収支差額がマイナスになっているのは、大学の一三〇周年に対して1000万円の寄付金を行ったためである。よって前期繰越収支差額5343万3393円と相殺して、次期繰越収支差額は4339万9339円となった。

・正味財産増減に関しては、当期収支差額分1003万4054円が正味財産減少額になり、当期正味財産残高は6139万9339円になった。貸借対照表の「資産の部」については、そのほとんどが預金とMMFで、「負債・正味財産の部」では、源泉預り金(4万9170円)、有志寄付金(1800万円)と繰越収支差額(4339万9339円)、を含めて、合計6144万8509円となった。

▽監査報告(野口昌宏監事)

これらについて、規約第六章・第十八条の規定に基づき、五月十五日付けで野口昌宏

監事・坂田英夫監事が監査をした結果、会務の執行は当会の規約に従い、総会並びに理事会の決議に基づき誠実に行為されており、一般会計はいずれも適正に処理されており、計算書類は本会の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認められた。

第一号議案については、全員異議なく承認された。

○第二号議案

役員改選について

▽平成二十三年度の事業報告と二十四年度の事業計画(案)・収支予算(案)を併せて、整合性の取れる形で判断いただくため、まず第二号議案で次年度の役員について諮り、承認後に第三号議案について、各委員長に説明いただくという補足説明があった。

新役員候補については、別添「役員一覧・運営組織表」(案)を参照のこと。

・新しい組織としては「運営委員会」を設立し、各委員会活動状況に関する、情報シェアおよび意見交換、会全体の活動についての提案と討議を行うこととする。

・昨年度までは、各委員長は「副会長」が就任することになっていたが、今年度からは委員長職として「常務理事」を復活させ、新しく二名の方が就任する。

第二号議案については、全員異議なく承認された。

認された。

○第三号議案

各委員会の平成二十三年事業報告および平成二十四年度事業計画(案)・収支予算(案)承認の件

▽山口会長より平成二十四年度の連合駿台会活動基本方針に関しては、従来の方針を踏襲して、基本的にはこれで進めたいという報告があった。

*

▽総務・事業委員会 古賀慎一郎副委員長

〈平成二十三年事業報告〉

- ① 平成二十四年三月に第三回連合駿台会オープンゴルフコンペを開催した。
- ② 十一月の例会を忘年会例会とした。
- ③ 正・副会長会を、八月に開催した。
- ④ 創立一三〇周年記念事業で、大学への提言・要望等のとりまとめを行った。

〈平成二十三年事業計画・収支予算(案)〉

- ① 大学および諸校友関係団体と交流を図り、連携を促す。
- ② 各委員会に属さないその他諸業務を行う。
- ③ 平成二十四年度年間計画に基づき、前年に引き続き事業を円滑に進める。
- ④ 会員のニーズを調査分析し、当会の活性化策を検討する。
- ⑤ 例会のほか、ゴルフ・忘年会など、時節

にふさわしい計画を立て、開催する。

【収支予算】 565万円

▽組織・会員増強委員会 丸山律夫委員長
〈平成二十三年事業報告〉

- ① 入会前の入会審査：5回
- ② 全体委員会：2回(新活動方針および会員増強について)

〈平成二十四年度事業計画・収支予算(案)〉

- ① 入会審査(主として例会当日)
 - ② 会員増強活動(本年度目標五十名)
 - ③ 入会資格の見直し
 - ④ 入会審査方法の見直し
 - ⑤ 新入会員の定着方法の検討
- 【収支予算】 30万円

▽広報委員会 斎藤柳光新委員長

〈平成二十三年事業報告〉

- ① 連合駿台会報で、広報委員が順番制で編集後記を担当することにより、紙面への関心度を高めた。
- ② 第293号以降のカラー化も軌道に乗り、二十三年十一月号発行分で第300号を通過した。

〈平成二十四年度 事業計画・収支予算(案)〉

- ① 会報などによる母校明治大学の相互理解を深める広報活動を行う。
- ② ホームページを会報と連動することや定

③ 期更新できるよう強化していく。
会報やホームページで会員のプロフィールや業務内容などを紹介して活性化を促す。

【収支予算】 180万円

▽大学支援委員会

〈平成二十三年度事業報告〉 坏昭二委員長

① 明治大学未来サポーター募金に対する寄付金1000万円。(ただし資金はジパング株式会社売却の一部を充当した)

② 例年通り連合駿台会学術賞・学術奨励賞の授与を行った。今年度は若手教員向けの学術奨励賞を三人まで増員し表彰した。
③ ホームカミングデー、シェイクスピアプロジェクト(旧称:文化プロジェクト)など、恒例のプログラムに対する支援を実施した。

〈平成二十四年度 事業計画・収支予算(案)〉
舟橋達彦新委員長

大学発展ための連携を強化し、大学が行う「教育」「研究」および「社会貢献」の諸活動に協力し支援する。(ホームページは広報委員会に移管)

① 駿台懇話会の開催(学術賞・学術奨励賞の授与、平成二十五年一月下旬予定)
② リバティアカデミー寄付講座の実施(春／六月一日、秋／十月上旬予定)

③ 第十五回ホームカミングデーへの支援(平成二十四年十月二十一日予定)

④ 明治大学産学交流シンポジウムの共催(平成二十四年秋に開催予定)

⑤ 大学が主催する諸行事の共催および支援
⑥ その他(会員にとつてのメリット、大会が誇れる支援は何なのかを考える。特に学生・留学生・父母会などを視野に入れて、もっと積極的な支援を図る)

【収支予算】 590万円

▽財務委員会

〈平成二十三年度事業報告〉 大山卓良委員長
① 明治大学創立一三〇周年記念事業に多額の寄付金を提供することができた。

② 年会費の徴収に努力した結果、未納会員数は前年度(五十四名)より半減している。会費納入者数:316名(休会員を除く、地方会員48名含む)
うち未納者数26名(八・二%)
※過去三年間(平成二十〇二二年度平均は一五・八%)

〈平成二十四年度事業計画(案)〉

谷慈義新委員長

① 入会金、年会費、広告料、寄付金など、当会資産の管理、財政基盤の強化をする。
② 当会資産の活用方法について協議、使途などを提案する。

③ 新しい連合駿台会のあり方について検討し、新しい大学支援へのアドバイスをを行う。

【平成二十四年度収支予算(案)】

① 収入の部では、年会費収入は1650万円、前期比で230万円増えている。問題は例会費収入(207万円)をいかに増やすかであり、これに関して、運営委員会で財務の立場として厳しい意見を述べていきたい。

② 支出の部では、総務費は470万円、前期比50万円プラスだが、これは新しいコピー機を導入し、印刷費が増加したためである。事業費は1365万円、大学支援委員会費が、昨年の一三〇周年の寄付金(1千万円)を除いても、前期より150万円増えているし、広報委員会費も50万円の増額である。これらの支出と収入のバランスが正しいのか、また年会費がこれだけ集まるのかどうか、と考えると、もし収入が十分でなければ、支出の面でストップをかけていかなければならない。これらにその他の事業費20万円、予備費50万を合わせて、当期支出合計は1905万円だが、これを収入合計1919万円から引いた14万円が当期収支差額となる。
③ 昨年度は1千万円の寄付金をしたが、こ

れを今年も、来年も……、という声も聞かれるが、昨年はあくまでも一三〇周年という特別な節目の年だった、というところで歯止めをかけなければならぬと思う。というのは先に述べたように、当期収支差額は14万円で赤字にもなりかねない。会員の方から集めた年会費のうち、多くの比率のものがただ大学に行くとなると、それが連合駿台会のあるべき姿だろうか？ ということも考えなければならぬと思う。

第三号議案については、全員異議なく承認された。

○第四号議案

その他

▽休会員というのはどういう立場か？

①正式に休会届を提出された方、②年会費が三年以上未納で、しかし正式に退会はされていない方の二通りある。かつての役員から、名前は残しておくように言われ、そのままになっているが、これに関しては理事会に諮り、対応させていただきたい。

▽振込先銀行について

管理する側から考えると、年会費振込先が複数の銀行にわたると、業務が煩雑になるので、できれば一つの銀行に集中したいが、ご意見に関しては検討したいと思う。

平成24年度 例会日程予定表

年	月日	開始	会場	講師	備考
平成24 (2012)	7月18日(水)	18:00	明治大学 「紫紺館」	平山長雄氏	暑気払い
	9月20日(木)	12:00	明治大学 「紫紺館」	未定	
	11月21日(水)	18:00	明治大学 「紫紺館」	未定	忘年会
平成25 (2013)	1月下旬頃 (23日 or 30日)	17:30	明治大学 「リバティタワー」	学術賞受賞者 記念講演	駿台懇話会
	3月27日(水)	18:00	明治大学 「紫紺館」	未定	
	5月17日(金)	18:00	明治大学 「紫紺館」	講演なし	総会

※駿台懇話会の会場はリバティタワー、それ以外の会場はとりあえず「紫紺館」を予定しているが、変更になる場合もあり。

※大学の新施設を見学するツアーを企画する予定。

※季節のよい頃に、第4回オープンゴルフコンペを開催予定。

平成 23 年度 連合駿台会 収支計算書

自:平成 23 年 4 月 1 日

至:平成 24 年 3 月 31 日

(単位:円)

収入の部				摘要(収入の部)
勘定科目	予算額	決算額	予算比	
年会費収入	14,300,000	14,217,475	99.4%	※入会金 810,000 円含む
例会費収入	2,070,000	2,553,000	123.3%	
広告費収入	600,000	520,000	86.7%	
営業外収益	30,000	21,238	70.8%	預金利息/MMF 利息
当期収入計	17,000,000	17,311,713	101.8%	
前期繰越収支差額	53,433,393	53,433,393	100.0%	
当期収入合計	70,433,393	70,745,106	100.4%	
支出の部				摘要(支出の部)
勘定科目	予算額	決算額	予算比	
I. 総務費				
(1) 家賃共益費	600,000	600,000	100.0%	紫紺館事務所家賃
(2) 人件費	1,800,000	1,854,430	103.0%	会報発行業務及び事務局関連業務委託費
(3) 事務通信費	1,000,000	949,000	94.9%	電話代/例会資料等発送費/振込手数料 他
(4) 備品消耗品	300,000	525,934	175.3%	発送用封筒代/文具代/会員ネーム札作成代 他
(5) 印刷費	200,000	212,301	106.2%	コピー用紙代/事務局コピー機リース代
(6) 雑費	300,000	439,579	146.5%	事務局交通費/資料代
総務費計(I)	4,200,000	4,581,244	109.1%	
II. 事業費				
1.各委員会運営費				
(1) 総務・事業委員会費	5,550,000	6,017,381	108.4%	各種校友関係団体との交流関係費/正副会長会費/名簿発行費/例会費・講師謝・忘年会費等/委員会費
(2) 組織・会員増強委員会費	500,000	504,978	101.0%	会員増強活動費/活動方針の策定及び活動費/委員会費
(3) 広報委員会費	1,300,000	1,355,000	104.2%	会報印刷経費・委員会費
(4) 大学支援委員会費	14,400,000	14,785,164	102.7%	特別寄付金/寄付講座(春期・秋期)/学術賞/その他大学主催行事への共催・支援/HP/委員会費
各委員会運営費計	21,750,000	22,662,523	104.2%	
2.その他事業費				
(1) 慶弔費	200,000	102,000	51.0%	
その他事業費計	200,000	102,000	51.0%	
事業費計(II)	21,950,000	22,764,523	103.7%	
III. 予備費	500,000	0	0.0%	
当期支出合計(I+II+III)	26,650,000	27,345,767	102.6%	
当期収支差額	-9,650,000	-10,034,054	104.0%	
次期繰越収支差額	43,783,393	43,399,339	99.1%	

平成23年度 連合駿台会 正味財産増減計算書

自平成23年4月1日

至平成24年3月31日

(単位:円)

科目	金額	
(正味財産増減の部)		
■正味財産増加の部		
1. 資産増加額		
当期収支差額		
2. 負債減少額		
増加額合計		
■正味財産減少の部		
1. 資産減少額		
当期収支差額	10,034,054	
2. 負債増加額		
減少額合計		10,034,054
当期正味財産増加額(減少額)		(10,034,054)
前期繰越正味財産残高		71,433,393
当期正味財産残高		61,399,339

平成24年度 活動基本方針

「より多くの明大の卒業生が、他大学にはない特別の愛校心を抱けるよう、卒業生、教員、職員、在校生など全ての関係者が団結し、相互に絆を深めるためのリーダー的役割を果たす」

① 【各種事業の実施】

会員の知識を広く深め、相互に交換し、会員の社会的地位の向上と社会への貢献を図るため大学の学術奨励、講演会・セミナーの開催、ボランティア活動の実施、親睦会の開催等、親睦会の開催等、各種事業を実施する。

② 【大学の発展への寄与】

大学の発展に寄与するため、学術奨励表彰を行うと共に、Joint Speech Program の

実施、学生の講演会への招待・啓蒙および国際人養成支援等を実施し、大学との連携を強化する。

また、適宜、大学への提言を行う。

③ 【大学との連携を強化】

大学との連携をより強く進めていくため、大学支援委員会を中心に、知的資産の運用やビジネスインターンシップの実施等に力を注いでいく。他大学とは「私立大学経済人連携会議」という形で、知的資産の運用の連携も引き続き模索する。

④ 【ネットワークの構築】

校友関係組織の中で、本会を名実共にレゾン・デートルのある会として発展させるため、幅広いネットワークの構築に努める。

⑤ 【幅広い世代による運営】

会員増強を一層強力に進め、特に若年会員の勧誘に力を入れ、会員年齢構成をバランスのとれたものにし、企業交流を通じて会の活性化を図る。

貸借対照表

平成 24 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(流 動 資 産)	61,438,209	(流 動 負 債)	49,170
小 口 現 金	97,916	源 泉 預 り 金	49,170
みずほ銀行・普通預金	38,311,776	(正 味 資 産)	61,399,339
みずほ銀行・定期預金	5,000,000	正 味 財 産	61,399,339
ゆうちょ銀行・普通預金	5,588,969	1. 有 志 寄 付 金	18,000,000
M . M . F .	12,439,548	2. 繰 越 収 支 差 額	43,399,339
(固 定 資 産)	10,300	(うち 当期正味財産増加額)	-10,034,054
電 話 加 入 権	10,300		
資 産 合 計	61,448,509	負 債 ・ 正 味 財 産 合 計	61,448,509

財 産 目 録

平成 24 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
1. 資 産 の 部			
(1) 流 動 資 産			
小 口 現 金	97,916		
みずほ銀行・普通預金	38,311,776		
みずほ銀行・定期預金	5,000,000		
ゆうちょ銀行・普通預金	5,588,969		
M . M . F .	12,439,548		
流 動 資 産 合 計		61,438,209	
(2) 固 定 資 産			
電 話 加 入 権	10,300		
固 定 資 産 合 計		10,300	
資 産 合 計			61,448,509
2. 負 債 の 部			
(1) 負 債 の 部			
源 泉 預 り 金	49,170		
流 動 負 債 合 計		49,170	
負 債 合 計			49,170
正 味 財 産			61,399,339